

# ため池 ハザードマップ 清永池

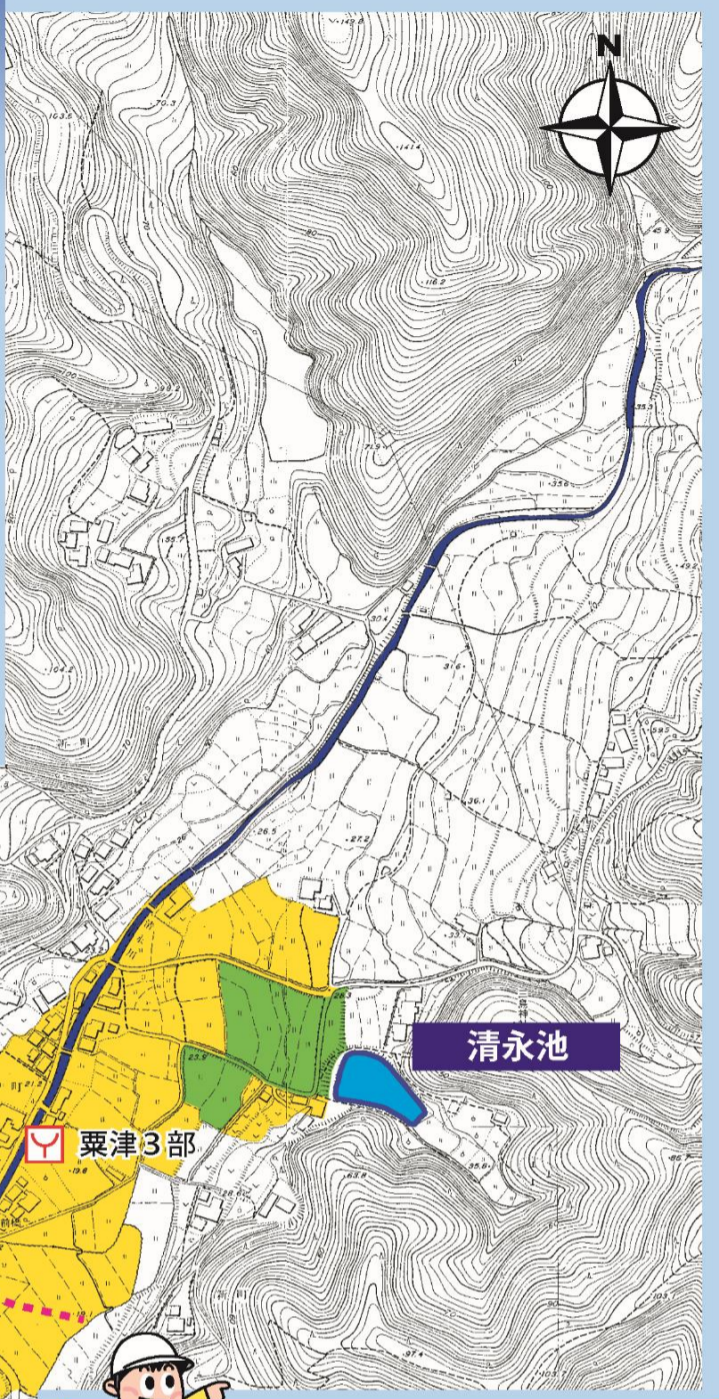
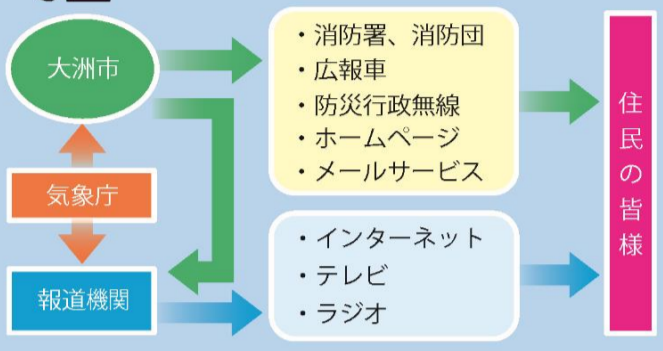
このマップは、農業用ため池の『清永池』が、南海トラフ地震などによって大きな被害を受け、ため池の堤防が決壊し、洪水が発生した場合を想定したもので、そのはん濫水が到達する可能性のある区域の最大範囲と、予想される浸水深を表示したものです。

実際のはん濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により、これと異なる可能性があります。地震が発生したら、まずは身の安全を確保する行動をとり、必要に応じて安全な場所へ避難することが大切です。

地域の皆さんでこのマップをご活用いただき、地震時の安全確保に努めてください。



## 情報伝達の流れ



### 地図の凡例

	指定避難所
	緊急避難場所
	駐在所
	消防団
	主要道路
	鉄道(予讃線)

### ため池のはん濫に関する凡例

	浸水深		1.0～2.0m
			0.5～1.0m
			0.5m未満
	到達時間		はん濫水の到達時間線

## 地震時の心得10ヶ条

- 1 まず身の安全を**  
丈夫な机の下などに身を隠し身体を守る。普段から家具等の転倒・落下防止対策を。
- 2 落ち着いて火の始末**  
揺れがおさまってから、あわてず火の始末を。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。
- 3 戸を開けて出口の確保**  
震動でドアが開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。
- 4 火が出たらすぐ消火**  
万一出火しても、天井に燃え移る前ならあわてず初期消火。消火用具を準備しておきましょう。
- 5 あわてて外に飛び出さない**  
瓦やガラスの落下の危険があり、飛び出しはケガのもと。冷静な判断を。
- 6 狭い路地やブロック塀には注意を**  
ブロック塀や自動販売機は転倒の恐れが。普段から周りの安全を確認しましょう。
- 7 協力し合って避難支援と応急対応**  
地域ぐるみで協力し合い、避難できない方の避難支援と応急対応の体制を。
- 8 山崩れ、がけ崩れに注意**  
居住地の自然環境を把握して、二次災害防止の心掛けを。
- 9 避難は原則徒歩で**  
マイカーでの避難は危険なうえ、緊急出動の障害に。ルールを守る心のゆとりを。
- 10 正しい情報を聞く**  
事実はひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動を。